

有害プランクトン情報

(令和4年度 - No. 6)

千葉県水産総合研究センター

東京湾漁業研究所・生産技術研究室

千葉県農林水産技術会議

水産総合研究センターは東京湾でプランクトン調査を行っています。プランクトンの種類や密度によって、魚類のへい死や二枚貝の毒化を起こすことがあるため、毎月、有害プランクトンの出現状況をお知らせします。

○ 調査日 沖合 9月 第1回 内湾(8地点) 9/5 内房(7地点) 9/6

東京湾(内湾)**【有害プランクトンの出現状況】**

- カレニア ミキモトイがみられました。低密度ですが、注視が必要です。
 - ・ 9/5 アクアライン南部, 羽田沖, 千葉沖 最高密度は羽田沖の0.2 細胞/mL
- カレニア ミキモトイ以外のシャットネラ属, シュードシャットネラ属, ヘテロシグマ属は確認されませんでした。
 - ※ シャットネラ属は 1 細胞/mL, シュードシャットネラ属は 100 細胞/mL, ヘテロシグマ属は 1,000 細胞/mL, カレニア属は 100 細胞/mL 以上で注意報を発出します。
- 赤潮 (透明度 1.5 m 以下, pH 8.5 以上, 酸素飽和度 150%以上) は第1回調査で確認されました。
 - ・ 9/5 内湾北部 (浦安沖, 波浪塔周辺海域) で発生。
珪藻 (タラシオシラ属, キートセロス属, シュードニッチア属) による赤潮

【貝毒原因プランクトンの出現状況】

- 1 麻痺性貝毒原因プランクトン
 - 確認されませんでした。
 - 2 下痢性貝毒原因プランクトン
 - ディノフィシス アキュミナータがみられました。低密度ですが、注視が必要です。
 - ・ 9/5 アクアライン北部~南部, 羽田沖 最高密度は羽田沖の1.0 細胞/mL
 - ディノフィシス ロツンダータがみられました。低密度ですが、注視が必要です。
 - ・ 9/5 盤洲北部 密度は0.05 細胞/mL
 - 貝毒の被害情報はありませんでした。
- (貝毒情報は千葉県農林水産部水産局漁業資源課のホームページに掲載)

東京湾(内房)**【有害プランクトンの出現状況】**

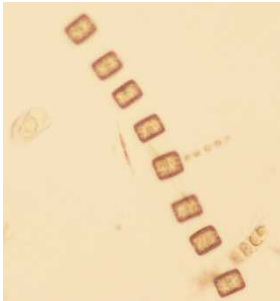
- 有害プランクトン (シャットネラ属, シュードシャットネラ属, ヘテロシグマ属, カレニア属) は、いずれも確認されませんでした。
- 赤潮は確認されませんでした。

【貝毒原因プランクトンの出現状況】

- 1 麻痺性貝毒原因プランクトン
 - 確認されませんでした。
 - 2 下痢性貝毒原因プランクトン
 - 確認されませんでした。
 - 貝毒の被害情報はありませんでした。
- (貝毒情報は千葉県農林水産部水産局漁業資源課のホームページに掲載)

○ 各海域で見られたフランクtonの優占種

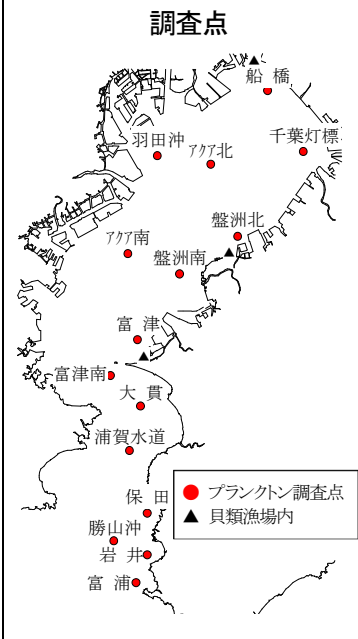
9/5,6 内湾・内房 珪藻タラシオシラ属, キートセロス属, シュードニッチア属など



タラシオシラ属
(9/5 富津沖)



カレニア属
(9/5 羽田沖)



連絡先 : 千葉県水産総合研究センター 東京湾漁業研究所
〒293-0042 富津市小久保 3091 TEL 0439-65-3071 E-mail futtsu-sokuho@pref.chiba.lg.jp